

はじめの一步

～ 介護福祉士への道 ～

2026 年度版

一般社団法人専門職教育情報機構（KJK）

この教材について

この「はじめの一步」は、実務者研修を受講するすべての方に向けた事前サポート教材です。

実務者研修を円滑にスタートするために必要な情報をまとめています。

介護福祉士の資格制度の全体像・今後の学習の進め方・外国人の方へのアドバイスを掲載しています。

第 1 章 介護福祉士とは

介護福祉士は、高齢者や障がいのある人の生活を支える国家資格です。

主な役割には、身体介護・生活支援（買い物・掃除・調理など）・家族支援・地域福祉への参画などが含まれます。

医療・看護・福祉と連携し、専門性の高い介護を提供します。

分類	能力・特徴	説明
対人関係力	コミュニケーション力	利用者や家族と信頼関係を築く力
判断力	観察力・気づき力	状態の変化を的確に捉え対応する力
協働力	多職種連携	医療・福祉の専門職とチームで支援する力
実践力	技術と知識の応用	状況に応じた安全・適切なケアを行う力
倫理性	責任感・人権尊重	尊厳と自立を大切にする専門性

第2章 介護福祉士の資格制度

2-1 資格取得のルート

介護福祉士の資格取得ルートは3つあります。

ルート	概要	主な対象者
①実務経験ルート	実務経験3年以上+実務者研修修了 → 国家試験受験資格を取得	現場で働きながら資格取得を目指す方
②養成施設ルート	介護福祉士養成施設(1850時間)を修了 → 国家試験受験資格を取得	学校で専門的に学ぶ方
③福祉系高校ルート	福祉系高校を卒業 → 国家試験受験資格を取得	福祉系高校の卒業生

✔ あなたは「①実務経験ルート」です

実務経験3年以上(従業期間540日以上・従事日数540日以上)を満たし、
実務者研修を修了することで、国家試験の受験資格を得ることができます。

この教材と入口学習は、その実務者研修の受講をスムーズにするためのサポートです。

2-2 実務者研修とは

項目	内容
研修時間	450時間
研修方法	通信学習(eラーニング)+スクーリング(対面実習)の組み合わせ
科目	20科目(医療的ケア・介護過程Ⅲなどを含む)
修了要件	全科目の修了評価に合格し、スクーリングに出席すること
位置づけ	国家試験受験資格の取得に必須。介護職としての専門性を高める研修。

2-3 国家試験のしくみ

項目	内容
実施	年1回（1月下旬）
形式	マークシート方式（5肢択一）
出題数	125問（13科目）
次回試験	第39回（2027年1月31日実施予定）

2-4 パート合格制度（第38回・2026年1月～適用）

第38回（2026年1月）から新制度が始まりました。国家試験の科目が3つのパートに分割され、合格したパートは最大3年間有効です。再受験時は不合格パートのみ受験できます。

パート	出題数		試験科目	特徴
パートA	60問		人間の尊厳と自立 介護の基本 社会の理解 人間関係とコミュニケーション コミュニケーション技術 生活支援技術	「人間と社会」+「介護」の基礎力
パートB	45問		こころとからだのしくみ 発達と老化の理解 認知症の理解 障害の理解 医療的ケア	身体・心理・疾患・医療の理解
パートC	20問		介護過程 総合問題	実践的な応用力と判断力

パート合格制度のポイント

- ・各パートで基準点に達すれば、そのパートは「合格」として最大3年間有効になります。
- ・再受験の際は、不合格だったパートだけを受験すればOKです。
- ・まずは実務者研修を修了し、受験資格を確実に取得することが先決です。

2-5 登録までの流れ

時期	内容	備考
2026年8月～9月上旬	受験申込期間	願書の準備と提出が必要。KJKから案内します。
2027年1月31日	国家試験実施	午前・午後の筆記試験（全国一斉）
2027年3月上旬	合格発表	社会福祉振興・試験センターより発表
2027年3月下旬～	登録申請	登録免許税（9,000円）の支払いで「介護福祉士」として登録

△ 国家試験に合格しても、登録手続きを完了しなければ「介護福祉士」として働くことはできません。

第3章 今後の学習の進め方

3-1 入口学習から実務者研修へ

実務者研修の受講をスムーズに進めるために、以下の順番で入口学習に取り組んでください。

STEP	教材・内容	目的	対象
STEP 1	はじめの一步（この教材）	資格制度・研修の全体像を把握する	全員
STEP 2	一問一答①（日本語力チェック）	日本語能力を測定し、教員の指導の参考とします。	外国人の方のみ
STEP 3	一問一答②（現場知識チェック）	現場で身についた介護知識を確認する	全員 「やさしいにほんご」対応
STEP 4	テキスト要約版（多言語対応）	実務者研修の内容を事前に理解する	全員
STEP 5	実務者研修（本講座）	国家試験受験資格の取得	全員

3-2 実務者研修の学習の進め方

学習の3つのポイント

- ① eラーニング（通信学習）を計画的に進める
→ KJKのCLS（WEB学習システム）でいつでも・どこでも・何度でも学習できます。
- ② 全体スケジュールを早めに確認する
→ スクーリング（対面実習）の日程は事前に確定しています。早めに把握しましょう。
- ③ 「今日のノルマ」を小さく決める
→ 1日30分でも、続けることが最大の力になります。

3-3 学習のタイムライン（目安）

時期	やること
受講開始前（今すぐ）	<ul style="list-style-type: none">・「はじめの一步」を読む（STEP 1）・一問一答①②を受験する（STEP 2・3）※①は外国人の方のみです
受講開始～1ヶ月	<ul style="list-style-type: none">・テキスト圧縮版で内容を予習する（STEP 4）・eラーニングの利用方法を確認する
受講中	<ul style="list-style-type: none">・eラーニング（通信学習）を計画的に進める・スクーリング（対面実習）に出席する・修了評価に合格する
受講修了後	<ul style="list-style-type: none">・修了証を取得する・国家試験の受験申込を行う（8～9月）

第4章 外国人の方へ

～にほんごと かいごを まなぶ みなさんへ～

日本で介護福祉士を目指すには、日本語の理解と介護の知識・技術の両方が必要です。

この事前サポートでは、段階的に学習を進めていきます。あせらず、コツコツ進めましょう。

4-1 必要な日本語能力の目安

段階	日本語レベル目安	内容
入口学習①②	N4～N5（やさしい日本語）	日常の介護場面を、やさしい日本語・ルビ付きで理解できるレベル
テキスト圧縮版	N3～N4（多言語版あり）	母語版・やさしい日本語版で介護の内容を理解できるレベル
実務者研修	N3 以上（推奨）	専門用語を含む日本語での学習・スクーリングに参加できるレベル
国家試験	N2 以上（推奨）	試験問題（5肢択一・日本語）を正確に読み解けるレベル

4-2 学習の進め方（外国人の方向け）

日本語と介護を同時に学ぶためのアドバイス

- ① わからない言葉は、スマートフォンの翻訳アプリで母国語に訳して確認しましょう。
- ② 一問一答①は現在の日本語能力を確かめ、今後の指導の参考にします。調べたりしないで、自分の力で答えてください。
- ③ 一問一答②は介護の現場で習得した知識と技術を確かめるものです。自分の力で答えてください。
- ④ テキスト要約版は母語版（多言語）もあります。母語でまず内容を理解しましょう。
- ⑤ 介護の専門用語（例：尊厳・自立支援・アセスメント）は意味を日本語で説明できるように練習しましょう。
- ⑥ 毎日 10～15 分、声に出して読む「音読」を続けましょう。漢字の読み方と意味が同時に身につきます。

4-3 スケジュールの目安

時期	やること
今すぐ	<ul style="list-style-type: none">・「はじめの一步」を読む・一問一答①②を受験する（②はやさしい日本語版）
受講開始前	<ul style="list-style-type: none">・テキスト要約版（母語版）で実務者研修の内容を予習する・日本語の学習も並行して続ける（N3 を目指す）

実務者研修中	<ul style="list-style-type: none">・ e ラーニングを計画的に進める（わからない言葉は翻訳アプリ活用）・ スクーリングでは積極的に質問する
修了後～国試	<ul style="list-style-type: none">・ N2 レベルの日本語力を目指す・ 国家試験の学習に移行する(KJK の国家試験対策講座「国試合格★パック」を活用しましょう。

みなさんへ メッセージ

日本語の勉強と介護の学習を同時に進めるのは、とても大変なことです。

でも、あなたが現場で積み重ねてきた経験は、すでに大きな力になっています。

その経験を「資格」という形にするために、KJK は全力でサポートします。

あせらなくて大丈夫です。大切なのは、計画を立てて、自分のペースでコツコツ続けること。

あなたの努力は、必ず結果につながります。一緒に前へ進みましょう！